

平成 28 年度

# 上下水道局 事業部の運営方針

## <部の構成>

上下水道計画課、上水道整備室（浄水課、上水道工務課）、  
上水道保全課、下水道整備室（汚水整備課、雨水整備課）、  
下水道施設維持課

## <担当事務>

- (1) 上下水道局の総合計画及び調整に関すること。
- (2) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (3) 上下水道局の工事の検査及び審査に関すること。
- (4) 上下水道局の危機管理に関すること。

## <部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	137名
再任用職員	19名
任期付職員	-名
非常勤職員	3名
合計	159名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

上下水道局は、市役所分館にあった下水道部の事務所が中宮浄水場に移転することに合わせて、水道事業と下水道事業を一体的に捉えて、経営部と事業部に再編しました。

事業部における水道事業の取り組みについては、安全でおいしい水道水を安定供給し、下水道事業では、水環境を保全し生活環境を創造するとともに、大雨などによる浸水被害から市民生活を守る事業を進め、市民にとって安全・安心で快適な暮らしにつながる水道・下水道事業をめざします。

平成 28 年度は、水道事業では中宮浄水場の更新に向けて新たな用地取得を行うとともに、老朽化した水道管の更新、改良、耐震化事業を推進します。また、鉛製給水管の解消に努めます。

下水道事業では、公共下水道の汚水事業は、住居系地域での平成 30 年度概成に向け取り組むとともに、雨水事業では、雨水管渠やポンプ場の整備を促進します。また、下水道浸水被害軽減総合計画に基づく事業を進めます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 水道管路更新・耐震化事業

重点施策・事業 における目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるため、上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けた取り組みに着手します。
平成 28 年度の 取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：2,810,000 千円

## (2) 中宮浄水場更新事業

重点施策・事業 における目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	平成 27 年度から実施している基本構想策定・基本設計業務に引き続き取り組むとともに、浄水場更新用地の取得や既存建築物の解体工事を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,936,000 千円

## (3) 応急給水拠点の整備

重点施策・事業 における目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 31 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
平成 28 年度の 取り組み	平成 28 年度は、応急給水拠点として、北山配水場に緊急遮断弁を設置するとともに、鷹塚山配水場の更新工事に着手します。また、津田低区配水場では、平成 33 年度に耐震化事業を完了し応急給水拠点として整備するため、事業に必要な用地を取得します。 平成 28 年度当初予算：284,800 千円

## (4) 下水道施設維持管理事業

重点施策・事業 における目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。また、下水道施設長寿命化計画を策定し、汚水管渠施設等の計画的な改築及び修繕工事を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。また、下水道施設長寿命化計画（汚水管渠・ポンプ場遠方監視システム）策定に向けた詳細調査、計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：944,312 千円

## (5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）

重点施策・事業 における目標	河川や水路、池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちとするため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。
-------------------	--

<b>平成 28 年度の 取り組み</b>	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組めます。 平成 28 年度当初予算：1,348,010 千円
---------------------------	--

#### (6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）

<b>重点施策・事業 における目標</b>	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
<b>平成 28 年度の 取り組み</b>	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地について、津田汚水幹線より企業共有の集中浄化槽までの約 0.7km について、平成 27 年度から平成 30 年度を整備期間として整備工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き整備を進めます。 平成 28 年度当初予算：130,000 千円

#### (7) 公共下水道雨水整備事業

<b>重点施策・事業 における目標</b>	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組めます。
<b>平成 28 年度の 取り組み</b>	浸水対策として、船橋本町雨水支線や養父丘排水路などの整備に取り組むとともに、新安居川ポンプ場及び溝谷川ポンプ場の排水能力の向上をめざし整備を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,714,195 千円

#### (8) 下水道浸水被害軽減総合事業

<b>重点施策・事業 における目標</b>	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設等の整備を進め浸水被害の軽減に取り組めます。
<b>平成 28 年度の 取り組み</b>	下水道浸水被害軽減総合計画に基づくハード対策として、蹠跏排水区では、雨水貯留施設の整備を推進し、楠葉排水区では、実施設計に取り組めます。 平成 28 年度当初予算：596,500 千円

### 3. 行政改革・業務改善

#### (1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	給水人口や有収水量の減少などの長期的な見通しを踏まえ、アセットマネジメントを導入した「上水道施設整備基本計画」を策定し、計画的に施設の整備、更新を進める。 また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用も検討しながら、同施設の基本構想・基本設計・実施設計を策定し、工事に着手、平成37年度から給水開始をめざす。
32. 下水道施設の長寿命化	老朽化した下水道施設の機能を適切に管理し、事後保全型から予防保全型へのシフトを図り、計画的に施設の改築・修繕を行うため下水道施設長寿命化計画の策定により、下水道施設の延命化と維持管理費の平準化を図る。
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、道路掘削作業など、その一部に民間活力を導入し、事業者の技術の習得状況を確認しながら、技能労務職員の適正な配置を行う。
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置しているが、ポンプ場の自動化や遠方監視システムの導入に合わせ配置基準の見直しを進める。

#### (2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
水道維持管理業務における、漏水修繕手法の検討	水道維持管理業務は、民間事業者も含め、人材確保と技術継承が大きな課題となっている。平成27年度に不調となった民間事業者への発注方法の再検討を行うとともに、直営体制の充実も視野に入れた課題解決の手法を検討する。
危機管理体制の充実	事業部として、大規模災害等危機事象に備えてのマニュアル整備、情報の共有化等、水道及び下水道に係る新たな危機管理体制の構築を行う。
業務効率の向上	定例会議により、工程等の共有に加えて、設計業務等の重要課題を課内全員で検討することにより、業務の適正化及び効率化を進めるとともに、職員の技術の向上や継承を図る。

## 4. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、建設改良費の増加に対し、自己財源を活用し、企業債発行額を抑制しながら計画的に企業債残高の縮減を図ります。
- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経営の効率化、経費削減に努め、一般会計からの基準外繰入金を抑制し予算編成を行いました。

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆上下水道組織の再編により、事業の効率的・効果的な組織運営を図るとともに、危機管理体制の強化に努めます。
- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

## 6. 広報・情報発信

- ◆市民の皆様が安心して水道水を利用できるよう、施設の更新・耐震化事業や水質管理についての情報発信を行います。
- ◆市民の皆様が安心できるようホームページやリーフレット等を活用した浸水対策事業等の下水道事業の情報発信を行います。

<上下水道局 新管理棟>

